

V. 教員免許状の取得のしかた

1 主専攻の卒業要件と教員免許状の取得について

1. 主専攻の卒業要件と教員免許状との関係

主専攻においては、その卒業要件を満たすことで、各コースにおける第1免許又は第2免許の教員免許状が取得できるようにカリキュラムを組んでいます。従って、主専攻における教員免許状の取得のしかたについて、本章のページにより特に調べる必要はありません。

2. 中学校の教員免許状と高等学校の教員免許状との関係

各教科のうち、「数学」、「理科」、「音楽」、「保健体育」、「家庭」及び「英語」については、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の取得方法が共通していますので、これらの教科については、学生が卒業要件を満たすことによって、中学校教諭一種免許状と高等学校一種免許状を同時に取得することができます。

一方、「国語」及び「美術」は、中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状の取得方法が少し異なります。また、「地理歴史」、「公民」及び「工業」にあつては、高等学校に係る免許状であり、その取得方法は中学校の取得方法とは大きく異なっています。

これら教科の高等学校教諭免許状を卒業と同時に取得しようと考えている学生は、本章「教員免許状の取得のしかた」を熟読し、卒業要件と併せてこれらの免許状が取得できるようにしっかりと履修計画を立ててください。

2 副専攻における教員免許状の取得について

1. 副専攻とは

所属するコース又は分野において主専攻として取得する教員免許状以外に、他の学校種又は他の教科の教員免許状を取得しようとするために履修するものを「副専攻」といいます。本章「教員免許状の取得のしかた」に従って各教員免許状の取得に必要な単位を修得し、卒業することにより、当該教員免許状が取得できます。

2. 副専攻の選抜・登録

副専攻の履修には登録が必要です。副専攻の受入れについては各教室で人数に制限があるため、毎年4月初旬に副専攻試験による選抜や登録などの手続きを行います。教育学部Moodleにて情報を収集し、関係教室等の指示に従って所定の手続きを行ってください。

3. 教員免許状取得のための開講科目と卒業要件との関係

本章において、教員免許状取得のために開講している科目の単位は、所属するコースの卒業要件において自由選択科目の単位に充てることができます。

次頁より、それぞれの学校種や教科の教員免許状取得に必要な単位数や授業科目の履修方法について説明します。教員免許法及び同法施行規則で定められた取り扱うべき内容と本学部が設定する授業科目の単位数との関係で、同法令が定める最低修得単位数より多く単位修得を要する教科等がありますが、これについては本章で示す履修指導に従ってください。

4 中学校教諭及び高等学校教諭の教員免許状の取得のしかた

1. 中学校教諭の教員免許状の取得のしかた

中学校教諭の教員免許状の取得に必要な単位は、次のとおりです。

免許法施行規則に定める科目区分		必要単位数		備 考
		中学校 1 種	中学校 2 種	
第2欄	教科及び教科の指導法に関する科目	28	12	
第3欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	8	
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	11	9	
第5欄	教育実践に関する科目	7	7	
第6欄	大学が独自に設定する科目	4	4	
合 計		60	40	

(注1) 欄区分の第2欄から第6欄は、教育職員免許法施行規則第4条に規定する区分を示します。

(注2) 第6欄の大学が独自に設定する科目は、99頁の「3. 教科及び教科の指導法に関する科目の履修のしかた」の①及び117頁の「7. 大学が独自に設定する科目の履修のしかた」を参照してください。

2. 高等学校教諭の教員免許状の取得のしかた

高等学校教諭の教員免許状の取得に必要な単位は、次のとおりです。

免許法施行規則に定める科目区分		必要単位数	備 考
		高等学校 1 種	
第2欄	教科及び教科の指導法に関する科目	24	
第3欄	教育の基礎的理解に関する科目	10	
第4欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	9	
第5欄	教育実践に関する科目	5	
第6欄	大学が独自に設定する科目	12	
合 計		60	

(注1) 欄区分の第2欄から第6欄は、教育職員免許法施行規則第5条に規定する区分を示します。

(注2) 第6欄の大学が独自に設定する科目は、99頁の「3. 教科及び教科の指導法に関する科目の履修のしかた」の①及び117頁の「7. 大学が独自に設定する科目の履修のしかた」を参照してください。

3. 教科及び教科の指導法に関する科目の履修のしかた（中・高共通）

次頁以降のAからNまでの表（各教科の履修のしかた）に従って履修してください（〇は、教育職員免許法施行規則第4条備考第2項及び第5条備考第2項に定める一般的包括的内容を含む科目等を示します）。

ただし、以下の点に十分留意してください。

- ① AからNまでのそれぞれの表において、「必修①」は、教員免許法施行規則の第2欄に定める必修単位の修得方法を示し、「選択必修②」にあつては、同法施行規則の第6欄に定める「大学が独自に設定する科目」の必要単位数全てを「教科及び教科の指導法に関する科目」で修得する場合の取得方法を示しています。

「選択必修②」は、後述117頁の「大学が独自に設定する科目」の説明のとおり、他の区分の単位で充てることも可能です。しかしながら、教科の教員になる者として、当該教科に関する知識や能力をより高め充実させるためには、できる限り教科及び教科の指導法に関する科目の「選択必修②」のとおり履修することを強く推奨します。これについては、教科によって履修の仕方が異なるので、必ず各教室の方針に従って履修してください。

なお、**特別支援教育コースにおいて、基礎資格を中学校教諭一種免許状とする学生が、当該免許状を取得する場合にあつては、「選択必修②」は全て教科及び教科の指導法に関する科目から履修してください。**

- ② 「数学」、「理科」、「音楽」、「保健体育」、「家庭」及び「英語」の教科において、中学校教諭及び高等学校教諭の両方の一種免許状を取得しようとする場合、中学校教諭一種免許状の第2～6欄の必要単位数を満たすことで、中学校と高等学校の各2欄、第4欄及び第5欄における必要単位数の差分による余剰単位を「選択必修②」に充てることによって、高等学校教諭一種免許状の必要単位数を満たすことができます。

また、その他の教科も同様に、中学校教諭一種免許状の必要単位数を満たすことで、その余剰単位を「選択必修②」に充てることにより、高等学校教諭一種免許状の必要単位数の多くを満たすことができます。

しかしながら、①でも述べたように、高等学校の教科の教員になる者として、当該教科に関する知識や能力をより高め充実させるためには、余剰を利用せず、できる限り教科及び教科の指導法に関する科目の「選択必修②」のとおり履修することを強く推奨します。これについては、教科によって履修の仕方が異なるので、必ず各教科の方針に従って履修してください。

A. 国語（中学校および高等学校）の履修のしかた

免許法施行規則 に定める事項 及び科目	授 業 科 目	単位数	履修年次	中学校・1種		中学校・2種		高等学校・1種		備 考
				必修①	選択 必修②	必修①	選択 必修②	必修①	選択 必修②	
各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を 含む。)	○ 国 語 科 教 育 概 論	2	2	2		2		2		
	国 語 科 カ リ キ ュ ラ ム 論 I	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国 語 科 カ リ キ ュ ラ ム 論 II	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国 語 科 学 習 指 導 論 I	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国 語 科 学 習 指 導 論 II	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国 語 科 授 業 づ く り 演 習 I	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国 語 科 授 業 づ く り 演 習 II	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国 語 科 授 業 づ く り 演 習 III	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国 語 科 授 業 づ く り 演 習 IV	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
教科に 関する 専門的 事項	○ 国 語 学 概 論	2	1・2	2		2		2		
	こ と ば を し ら べ る	2	1	2	2	2	2	2	2	
	国語科の専門的基盤（国語学-表現）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国語科の専門的基盤（国語学-言語文化）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国 語 学 講 義 I（構造・機能）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国 語 学 講 義 II（国語表現）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国 語 学 講 義 III（変化・歴史）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国語学講義IV（世界の中の日本語）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国 語 学 演 習 I（文法）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国 語 学 演 習 II（文章・談話）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国語学演習III（現代の語彙と表現）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国語学演習IV（第二言語としての日本語）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	○ 国 文 学 概 論	2	2・3	2		2		2		
	こ と ば と 文 化	2	1	2	2	2	2	2	2	
	国語科の専門的基盤（国文学-古典）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	国語科の専門的基盤（国文学-近現代）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	日本の文学を読む（作家と作品）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	日本の文学を読む（作品と批評）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	日本の古典を読む（韻文と散文）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	日本の古典を読む（環境と文学）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	日本文学演習I（四季と自然）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	日本文学演習II（恋と人事）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	日本文学演習III（語りの構造）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	日本文学演習IV（表現の方法）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	○ 漢 文 学 概 論	2	2・3	2		2		2		
	中 国 古 典 学 演 習 I	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	中 国 古 典 学 演 習 II	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	○ 書 写 概 論	2	2・3	2		2				
	国語科の専門的基盤（書道）	2	2～4	2	2	2	2			
	書 写 書 道 総 説	2	2～4	2	2	2	2			
	書 写 書 道 演 習 I（仮名）	2	2～4	2	2	2	2			
	書 写 書 道 演 習 II（漢字）	2	2～4	2	2	2	2			
	書 写 書 道 演 習 III（文字文化）	2	2～4	2	2	2	2			
合計				28	4	14	2	24	12	
				32		16		36		

B. 社会（中学校）の履修のしかた

免許法施行規則に定める事項及び科目		授業科目	単位数	履修年次	中学校・1種				中学校・2種				備考
					必修①		選択必修②		必修①		選択必修②		
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 社会科教育概論	2	1・2	2				2					
	社会科・地理歴史科教育概論	2	2～4	2	2	2	2			2			
	社会科・公民科教育概論	2	2～4	2	2	2	2			2			
	社会科・地理歴史科授業開発論	2	2～4	2	2	2	2			2			
	社会科・公民科授業開発論	2	2～4	2	2	2	2			2			
	社会科・地理歴史科教育演習Ⅰ	2	3・4	2	2	2	2			2			
	社会科・地理歴史科教育演習Ⅱ	2	3・4	2	2	2	2			2			
	社会科・公民科教育演習Ⅰ	2	3・4	2	2	2	2			2			
	社会科・公民科教育演習Ⅱ	2	3・4	2	2	2	2			2			
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	○ 日本史概論	2	1・2	2				2				
		○ 外国史概論	2	1・2	2				2				
		社会科の専門的基盤（世界史）	2	1～4	2	2	2	2			2		
		日本史研究入門	2	1～4		2	2	2			2		
		日本史特講Ⅰ	2	2～4		2	2	2			2		
		日本史特講Ⅱ	2	2～4		2	2	2			2		
		日本史史料調査実習Ⅰ	2	1～4		2	2	2			2		
		日本史史料調査実習Ⅱ	2	1～4		2	2	2			2		
		日本史史料調査実習Ⅲ	2	1～4		2	2	2			2		
		日本史演習Ⅰ－1	2	2～4		2	2	2			2		
		日本史演習Ⅰ－2	2	2～4		2	2	2			2		
		日本史演習Ⅱ－1	2	2～4		2	2	2			2		
		日本史演習Ⅱ－2	2	2～4		2	2	2			2		
		外国史特講Ⅰ	2	1～4		2	2	2			2		
		外国史特講Ⅱ	2	1～4		2	2	2			2		
		外国史特講Ⅲ	2	1～4		2	2	2			2		
		外国史演習Ⅰ－1	2	2～4		2	2	2			2		
		外国史演習Ⅰ－2	2	2～4		2	2	2			2		
		外国史演習Ⅱ－1	2	2～4		2	2	2			2		
	外国史演習Ⅱ－2	2	2～4		2	2	2			2			
	地理学（地誌を含む。）	○ 地理学（地誌を含む）	2	1・2	2				2				
		社会科の専門的基盤（地理学）	2	1～4	2	2	2	2			2		
		人文地理学概論	2	1～4		2	2	2			2		
		人文地理学特講	2	2～4		2	2	2			2		
		人文地理学演習Ⅰ－1	2	2～4		2	2	2			2		
		人文地理学演習Ⅰ－2	2	2～4		2	2	2			2		
		人文地理学演習Ⅱ－1	2	2～4		2	2	2			2		
		人文地理学演習Ⅱ－2	2	2～4		2	2	2			2		
		自然地理学概論	2	1～4		2	2	2			2		
自然地理学特講		2	1～4		2	2	2			2			
「法学、政治学」	○ 法学概論	2	1・2	2	2	2	2	2	2	2			
	○ 政治学概論	2	1・2	2	2	2	2	2	2	2			
	法学特講（国際法を含む）	2	1～4		2	2	2			2			
	国際政治学	2	1～4		2	2	2			2			
	政治学特講	2	1～4		2	2	2			2			
	法学演習Ⅰ－1	2	2～4		2	2	2			2			
	法学演習Ⅰ－2	2	2～4		2	2	2			2			
	法学演習Ⅱ－1	2	2～4		2	2	2			2			
	法学演習Ⅱ－2	2	2～4		2	2	2			2			

教科に関する専門的事項	「社会学、 経済学」	○ 社会学概論	2	1・2	2 } 2 } 2	2	2	2 } 2 } 2	2		
		○ 経済学概論	2	1・2		2	2		2	2	
		社会科の専門的基盤（社会学）			2	1～4		2	2		2
		社会学特講Ⅰ			2	1～4		2	2		2
		社会学特講Ⅱ			2	1～4		2	2		2
		国際経済学			2	1～4		2	2		2
		経済学特講			2	1～4		2	2		2
		経済学演習Ⅰ－1			2	2～4		2	2		2
		経済学演習Ⅰ－2			2	2～4		2	2		2
		経済学演習Ⅱ－1			2	2～4		2	2		2
		経済学演習Ⅱ－2			2	2～4		2	2		2
	「哲学、 倫理学、 宗教学」	○ 哲学概論	2	1・2	2 } 2			2			
		社会科の専門的基盤（哲学）	2	1～4		2	2			2	
		哲学特講Ⅰ			2	1～4		2	2		2
		哲学特講Ⅱ			2	1～4		2	2		2
		哲学演習Ⅰ－1			2	2～4		2	2		2
		哲学演習Ⅰ－2			2	2～4		2	2		2
		哲学演習Ⅱ－1			2	2～4		2	2		2
		哲学演習Ⅱ－2			2	2～4		2	2		2
	倫理学特講			2	1～4		2	2		2	
	合計					28	4	14	2		
					32		16				

C. 地理歴史（高等学校）の履修のしかた

免許法施行規則に定める事項及び科目		授業科目	単位数	履修年次	高等学校・1種		備考
					必修①	選択必修②	
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	○	社会科・地理歴史科教育概論	2	2～4	2		
		社会科・地理歴史科授業開発論	2	2～4	2	2	
		社会科・地理歴史科教育演習Ⅰ	2	3・4	2	2	
		社会科・地理歴史科教育演習Ⅱ	2	3・4	2	2	
教科に関する専門的事項	日本史	○ 日本史概論	2	1・2	2		
		日本史研究入門	2	1～4	2	2	
		日本史特講Ⅰ	2	2～4	2	2	
		日本史特講Ⅱ	2	2～4	2	2	
		日本史史料調査実習Ⅰ	2	1～4		2	
		日本史史料調査実習Ⅱ	2	1～4		2	
		日本史史料調査実習Ⅲ	2	1～4		2	
		日本史演習Ⅰ－1	2	2～4		2	
		日本史演習Ⅰ－2	2	2～4		2	
		日本史演習Ⅱ－1	2	2～4		2	
		日本史演習Ⅱ－2	2	2～4		2	
	外国史	○ 外国史概論	2	1・2	2		
		社会科の専門的基盤（世界史）	2	1～4	2	2	
		外国史特講Ⅰ	2	1～4	2	2	
		外国史特講Ⅱ	2	1～4	2	2	
		外国史特講Ⅲ	2	1～4	2	2	
		外国史演習Ⅰ－1	2	2～4		2	
		外国史演習Ⅰ－2	2	2～4		2	
		外国史演習Ⅱ－1	2	2～4		2	
		外国史演習Ⅱ－2	2	2～4		2	
	人文地理学・自然地理学	○ 人文地理学概論	2	1～4	2		
		社会科の専門的基盤（地理学）	2	1～4	2	2	
		人文地理学特講	2	2～4	2	2	
		人文地理学演習Ⅰ－1	2	2～4		2	
		人文地理学演習Ⅰ－2	2	2～4		2	
		人文地理学演習Ⅱ－1	2	2～4		2	
		人文地理学演習Ⅱ－2	2	2～4		2	
		○ 自然地理学概論	2	1～4	2		
		自然地理学特講	2	1～4	2	2	
		地理学野外実習Ⅰ	2	2～4		2	
		地理学野外実習Ⅱ	2	2～4		2	
		地理学（地誌を含む）	2	1・2	2	2	
	地誌	○ 地誌学概論	2	1・2	2		
		地誌学特講	2	1～4	2	2	
合計					24	12	
					36		

D. 公民（高等学校）の履修のしかた

免許法施行規則に定める事項及び科目		授業科目	単位数	履修年次	高等学校・1種			備考
					必修①		選択必修②	
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 社会科・公民科教育概論	2	2～4	2			
		社会科・公民科授業開発論	2	2～4	2	2	2	
		社会科・公民科教育演習Ⅰ	2	3・4	2		2	
		社会科・公民科教育演習Ⅱ	2	3・4	2		2	
教科に関する専門的事項	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	○ 法学概論	2	1・2	2			
		○ 政治学概論	2	1・2	2			
		法学特講（国際法を含む）	2	1～4	2			
		国際政治学	2	1～4	2			
		政治学特講	2	1～4	2	2	2	
		法学演習Ⅰ－1	2	2～4			2	
		法学演習Ⅰ－2	2	2～4			2	
		法学演習Ⅱ－1	2	2～4		2		
		法学演習Ⅱ－2	2	2～4		2		
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	○ 社会学概論	2	1・2	2			
		○ 経済学概論	2	1・2	2			
		社会科の専門的基盤（社会学）	2	1～4	2		2	12
		社会学特講Ⅰ	2	1～4	2	2		
		社会学特講Ⅱ	2	1～4	2	2		
		国際経済学	2	1～4	2			
		経済学特講	2	1～4	2		2	
		経済学演習Ⅰ－1	2	2～4		4	2	
		経済学演習Ⅰ－2	2	2～4			2	
		経済学演習Ⅱ－1	2	2～4			2	
		経済学演習Ⅱ－2	2	2～4		2		
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	○ 哲学概論	2	1・2	2			
		社会科の専門的基盤（哲学）	2	1～4	2		2	
		哲学特講Ⅰ	2	1～4	2		2	
		哲学特講Ⅱ	2	1～4	2		2	
		哲学演習Ⅰ－1	2	2～4			2	
		哲学演習Ⅰ－2	2	2～4			2	
		哲学演習Ⅱ－1	2	2～4			2	
		哲学演習Ⅱ－2	2	2～4			2	
		倫理学特講	2	1～4	2		2	
合計					24	12		
					36			

E. 数学（中学校および高等学校）の履修のしかた

免許法施行規則 に定める事項 及び科目		授業科目	単位数	履修年次	中学校・1種		中学校・2種		高等学校・1種		備考
					必修①	選択 必修②	必修①	選択 必修②	必修①	選択 必修②	
各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を 含む。)		○ 数 学 科 教 育 法 概 説	2	2	2		2		2		
		数 学 科 教 育 実 践 研 究 I	2	3					2	2	
		数 学 科 教 育 実 践 研 究 II	2	3	2				2	2	
		数 学 科 教 育 法 基 礎	2	1・2	2				2		
		数 学 科 教 材 論	2	2	2				2		
		数学教育学研究 I (目標論・内容論)	2	4	2	2		2	2	2	
		数学教育学研究 I (研究方法)	2	4	2	2		2	2	2	
		数学教育学研究 II (方法論)	2	4	2	2		2	2	2	
		数学教育学研究 II (研究実践)	2	4	2	2		2	2	2	
教科に関する専門的 事項	代数学	○ 代 数	2	2	2		2		2		
		数学科の専門的基盤(代数)	2	2～4	2	2	2	2	2	2	2
		代 数 学 発 展	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		代 数 学 研 究 I (構造論)	2	4	2	2	2	2	2	2	2
	幾何学	代 数 学 研 究 II (表現論)	2	4	2	2	2	2	2	2	2
		○ 幾 何 学	2	2	2		2		2		
		数学科の専門的基盤(幾何)	2	2～4	2	2	2	2	2	2	2
		幾 何 学 発 展	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		位 相 空 間 論	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		幾何学研究 I (ユークリッド幾何学)	2	4	2	2	2	2	2	2	2
	解析学	幾何学研究 II (様々な幾何学)	2	4	2	2	2	2	2	2	2
		○ 解 析 学	2	2	2		2		2		
		数学科の専門的基盤(解析)	2	2～4	2	2	2	2	2	2	2
		解 析 学 発 展	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	「確率論、 統計学」	解析学研究 I (常微分方程式)	2	4	2	2	2	2	2	2	2
		解析学研究 II (偏微分方程式)	2	4	2	2	2	2	2	2	2
		○ 確 率 統 計	2	2	2		2		2		
	コンピュータ	数学科の専門的基盤(応数)	2	2～4	2	2	2	2	2	2	2
		確 率 統 計 発 展	2	2・3	2	2	2	2	2	2	2
		○ 機 械 計 算 論	2	2	2	2	2	2	2	2	2
		数 値 解 析	2	2・3	2	2	2	2	2	2	2
合計					28	4	14	2	24	12	
					32		16		36		

F. 理科（中学校および高等学校）の履修のしかた

免許法施行規則に定める事項及び科目		授業科目	単位数	履修年次	中学校・1種		中学校・2種		高等学校・1種		備考	
					必修①	選択必修②	必修①	選択必修②	必修①	選択必修②		
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 理科教育通論	2	2	2		2		2			
		理科教育実践研究	2	3	2	2		2	2	2	2	
		理科授業論	2	2～4	2	2		2	2	2	2	
		理科教育課程論	2	2～4	2	2		2	2	2	2	
		理科学習論	2	2～4	2	2		2	2	2	2	
教科に関する専門的事項	物理学	○ 物理学通論	2	1	2		2		2			
		理科の専門的基盤（物理）	2	3・4	2	2		2	2	2	2	
		力学詳論	1	2	1	1		1	1	1	1	
		電磁気詳論	1	2	1	1		1	1	1	1	
		熱波動詳論	1	3・4	1	1		1	1	1	1	
		原子電子詳論	1	3・4	1	1		1	1	1	1	
	物理学演習	1	3・4	1	1		1	1	1	1		
	化学	○ 化学通論	2	2	2		2		2			
		理科の専門的基盤（化学）	2	2	2	2	2	2	2	2	2	
		有機化学	2	2～4	2	2	2	2	2	2	2	
		分析化学	2	1～4	2	2	2	2	2	2	2	
	生物学	○ 基礎生物学	2	1	2		2		2			
		理科の専門的基盤（生物）	2	2	2	2		2	2	2	2	
		生態生物学	2	1～4	2	2	4	2	2	2	12	
	動物生理学	2	1～4	2	2		2		2		2	
		地学	○ 地学通論	2	1	2		2		2		
			理科の専門的基盤（地学）	2	2	2	2		2	2	2	2
	地球表層環境科学		2	2～4	2	2		2	2	2	2	
	地質学詳論		2	3・4	2	2		2	2	2	2	
	物理学実験・ 化学実験・ 生物学実験・ 地学実験	○ 物理学実験基礎	1	2	1		1		1			
		○ 化学実験基礎	1	2	1		1		1			
		○ 生物学実験基礎	1	1	1		1		1			
		○ 地学実験基礎	1	2	1		1		1			
		物理学実験展開	1	2	1				1	1	1	
		化学実験展開	1	2	1				1	1	1	
		生物学実験展開	1	1	1				1	1	1	
		地学実験展開	1	2	1				1	1	1	
		物理学総合実験	2	2・3	2	2		2	2	2	2	
		化学総合実験	2	3	2	2		2	2	2	2	
		生物学総合実験	2	1～4	2	2		2	2	2	2	
		地学野外実習	2	3・4	2	2		2	2	2	2	
合計				28	4	14	2	24	12			
				32		16		36				

G. 音楽（中学校および高等学校）の履修のしかた

免許法施行規則に定める事項及び科目	授業科目	単位数	履修年次	中学校・1種		中学校・2種		高等学校・1種		備考
				必修①	選択必修②	必修①	選択必修②	必修①	選択必修②	
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 音楽科教育法総説	2	2	2		2		2		
	○ 音楽科教育実践研究	2	3	2				2		
	○ 音楽科教育法Ⅰ	2	2	2	2	2	2	2	2	
	○ 音楽科教育法Ⅱ	2	3・4	2	2	2	2	2	2	
	○ 音楽科教育演習ⅠA	2	3・4	2	2	2	2	2	2	
	○ 音楽科教育演習ⅠB	2	3・4	2	2	2	2	2	2	
	○ 音楽科教育演習ⅡA	2	3・4	2	2	2	2	2	2	
	○ 音楽科教育演習ⅡB	2	3・4	2	2	2	2	2	2	
教科に関する専門的事項	○ ソルフエージュ基礎	1	2	1		1		1		
	○ ソルフエージュ展開	1	2	1			1	1		
	○ 独唱基礎（日本の伝統的歌唱含）Ⅰ	1	1	1		1		1		
	○ 独唱基礎（日本の伝統的歌唱含）Ⅱ	1	1	1		1		1		
	○ 合唱	1	4	1		1		1		
	○ 音楽科の専門的基盤（声楽）	2	1～4	2	2		2	2	2	
	○ 独唱ⅡA	1	2	1	1		1	1	1	
	○ 独唱ⅡB	1	2	1	1		1	1	1	
	○ 独唱ⅢA	1	3	1	1		1	1	1	
	○ 独唱ⅢB	1	3	1	1		1	1	1	
	○ 独唱ⅣA	1	4	1	1		1	1	1	
	○ 独唱ⅣB	1	4	1	1		1	1	1	
	○ 歌唱表現ⅡA	1	2	1	1		1	1	1	
	○ 歌唱表現ⅡB	1	2	1	1		1	1	1	
	○ 歌唱表現ⅢA	1	3	2	1		1	1	1	
	○ 歌唱表現ⅢB	1	3	1	1		1	1	1	
	○ 歌唱表現ⅣA	1	4	1	1		1	1	1	
	○ 歌唱表現ⅣB	1	4	1	1		1	1	1	
	○ 器楽（ピアノ）基礎（伴奏・和楽器含）Ⅰ	1	1	1		1	2	1	12	
	○ 器楽（ピアノ）基礎（伴奏・和楽器含）Ⅱ	1	1	1		1		1		
	○ 合奏	1	2～4	1		1		1		
	○ 音楽科の専門的基盤（ピアノ）	2	1～4	2	2	2	2	2	2	
	○ 音楽科の専門的基盤（器楽）	2	1～4	2	2	2	2	2	2	
	○ 器楽（ピアノ）ⅡA	1	2	1	4	1	1	1	1	
	○ 器楽（ピアノ）ⅡB	1	2	1	1	1	1	1	1	
	○ 器楽（ピアノ）ⅢA	1	3	1	1	1	1	1	1	
	○ 器楽（ピアノ）ⅢB	1	3	1	1	1	1	1	1	
	○ 器楽（ピアノ）ⅣA	1	4	1	1	1	1	1	1	
	○ 器楽（ピアノ）ⅣB	1	4	1	1	1	1	1	1	
	○ 器楽表現（ピアノ）ⅡA	1	2	1	1	1	1	1	1	
	○ 器楽表現（ピアノ）ⅡB	1	2	1	1	1	1	1	1	
	○ 器楽表現（ピアノ）ⅢA	1	3	1	1	1	1	1	1	
	○ 器楽表現（ピアノ）ⅢB	1	3	1	1	1	1	1	1	
	○ 器楽表現（ピアノ）ⅣA	1	4	1	1	1	1	1	1	
	○ 器楽表現（ピアノ）ⅣB	1	4	1	1	1	1	1	1	
	○ 指揮法	1	4	1		1		1		
	○ 音楽理論基礎Ⅰ	1	1・2	1		1		1		
	○ 作曲基礎技法（含編曲）Ⅱ	1	2・3	1		1		1		
	○ 音楽史ⅠA	1	2～4	1		1		1		
	○ 音楽史ⅠB	1	3・4	1		1		1		
	○ 音楽史ⅡA	1	2～4	1			1	1		
	○ 音楽史ⅡB	1	3・4	1	1		1		1	
合計				28	4	14	2	24	12	
				32		16		36		

H. 美術（中学校および高等学校）の履修のしかた

免許法施行規則 に定める事項 及び科目	授 業 科 目	単位数	履修年次	中学校・1種		中学校・2種		高等学校・1種		備 考
				必修①	選択 必修②	必修①	選択 必修②	必修①	選択 必修②	
各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を 含む。)	○ 美術科教育法総論	2	2・3	2		2		2		
	美術科教育実践研究	2	3	2			2	2	2	
	美術科教育法各論Ⅰ	2	3・4	2			2	2	2	
	美術科教育法各論Ⅱ	2	3・4	2			2	2	2	
教科に 関する 専門的 事項	○ 絵画基礎演習	2	1・2	2		2		2		
	美術科の専門的基盤（絵画）	2	2～4	2	2		2	2	2	
	絵画実習Ⅰ	2	1～4	2	2		2	2	2	
	絵画実習Ⅱ	2	1～4	2	2		2	2	2	
	絵画学外研究	1	1～4	1	1		1	1	1	
	○ 彫刻基礎演習	2	1・2	2		2		2		
	美術科の専門的基盤（彫刻）	2	2～4	2	2		2	2	2	
	彫刻表現演習	2	1～4	2	2		2	2	2	
	○ デザイン基礎演習	2	1・2	2		2		2		
	美術科の専門的基盤（デザイン）	2	2～4	2	2		2	2	2	
	デザイン演習	2	1～4	2	2		2	2	2	
	デジタル表現演習	2	1～4	2	2		2	2	2	
	デザイン学外研究	1	1～4	1	1		1	1	1	
	○ 工芸概論	2	1～3	2		2				
	工芸実習Ⅰ	2	1～4	2	2		2			
	工芸実習Ⅱ	2	1～4	2	2		2			
	○ 日本とアジアの美術（歴史と理論と鑑賞）	2	1・2	2		2		2		
	○ 西洋美術（歴史と理論と鑑賞）	2	1・2	2		2		2		
	美術科の専門的基盤（鑑賞）	2	2～4	2	2		2	2	2	
	芸術学Ⅰ	1	1～4	1	1		1	1	1	
	芸術学Ⅱ	1	1～4	1	1		1	1	1	
	芸術学学外研究	1	1～4	1	1		1	1	1	
合計				28	4	14	2	24	12	
				32		16		36		

I. 保健体育（中学校および高等学校）の履修のしかた

免許法施行規則に定める事項及び科目	授業科目	単位数	履修年次	中学校・1種		中学校・2種		高等学校・1種		備考
				必修①	選択必修②	必修①	選択必修②	必修①	選択必修②	
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○ 保健体育科教育（保健）	1	2	1		1		1		
	○ 保健体育科教育（体育）	1	2	1		1		1		
	保健体育科教育実践研究	2	3		2		2		2	
	保健体育科教育Ⅰ（身体機能・体力）	2	2～4	2			2	2	2	
	保健体育科教育Ⅱ（教材・教授）	2	2～4	2			2	2	2	
	保健体育科教育Ⅲ（スポーツ文化）	2	2～4	2			2	2	2	
教科に関する専門的事項	○ 身体と動きⅠ（陸上競技・器械運動）	1	1～4	1		1		1		
	○ 身体と動きⅡ（体づくり運動・ダンス）	1	1～4	1		1		1		
	○ 身体と動きⅢ（球技・柔道）	1	1～4	1		1		1		
	○ 身体と動きⅣ（水泳）	1	1～4	1		1		1		
	保健体育科の専門的基盤（実技指導）	1	3～4	1	1		1	1	1	
	保健体育科の専門的基盤（実習指導）	1	3～4	1	1		1	1	1	
	バスケットボール	1	1～4	1	1		1	1	1	
	バレーボール	1	1～4	1	2	1	1	1	2	1
	サッカー	1	1～4	1	1	1	1	1	1	1
	野外活動（実習）	1	1～4	1	1	1	1	1	1	1
	スキー（実習）	1	1～4	1	1	1	1	1	1	1
	体づくり運動	1	1～4	1	1	4	1	1	1	12
	器械運動	1	1～4	1	1		1	1	1	
	陸上競技	1	1～4	1	1		1	1	1	
	ダンス	1	1～4	1	1		1	1	1	
	○ 体育学概論（体育原理・体育心理学・運動学）	2	1～4	2		2		2		
	運動方法実習	2	1～4	2	2		2	2	2	
	保健体育科教育学演習	2	3	2	4	2	2	2	4	2
	○ 生理学（運動生理学を含む。）	2	1～4	2		2		2		
	解剖学	2	1～4	2	2		2	2	2	
	運動生理学実験	1	1～4	1	1		1	1	1	
	○ 衛生学及び公衆衛生学	2	1～4	2		2		2		
	○ 学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	2	1～4	2		2		2		
合計				28	4	14	2	24	12	
				32		16		36		

J. 保健（中学校および高等学校）の履修のしかた

免許法施行規則に定める事項及び科目	授 業 科 目	単位数	履修年次	中学校・1種		中学校・2種		高等学校・1種		備 考
				必修①	選択必修②	必修①	選択必修②	必修①	選択必修②	
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 保健科教育法（健康教育論）	2	2	2		2		2		
	保健科教育演習	2	3	2				2		
	保健科教育法（からだの学習）	2	3	2	2			2	2	
	保健科教育法（性教育）	2	3	2	2			2	2	
	保健科教育法（環境と健康に関する学習）	2	2	2	2			2	2	
教科に関する専門的事項	○ 「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」 (注1)	2	2	2		2		2		
	○ 人間機能学	2	2	2		2		2		
	○ 食品栄養学	2	2	2		2		2		
	○ 解剖学	2	1					2	2	
	○ 微生物学	2	1					2	2	
	○ 衛生学及び公衆衛生学	2	2	2		2		2		
	○ 衛生行政	1	2	1	1			1	1	
	○ 保健行動概論	1	2	1	1			1	1	
	○ 保健統計学	2	3	2	2			2	2	
	○ 社会福祉論	1	3	1	1	4		1	1	12
	○ 口腔保健学	1	3	1	1			1	1	
	○ 学校保健（学校安全を含む）	2	1	2		2		2		
	○ 小児保健学	2	1	2		2		2		
	○ 精神保健学	2	2	2		2		2		
	○ 学校救急処置活動（実習を含む）	2	3	2	6	2		2		
	○ 小児科学Ⅰ	2	2	2	2	2		2	2	
	○ 小児科学Ⅱ	2	3	2	2	2		2	2	
	○ 思春期精神保健学	2	3	2	2	2		2	2	
	○ 健康相談活動Ⅰ	2	3	2	2	2		2	2	
	○ 健康相談活動Ⅱ	2	4	2	2	2		2	2	
	○ 学校ヘルスプロモーション論	1	2	1	1			1	1	
	○ 保健指導の理論と実際	2	3	2	2			2	2	
	○ 学校保健情報処理	1	3	1	1			1	1	
合計				28	4	16		24	12	
				32		16		36		

（注1）上表の科目区分「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」は、高等学校の教員免許状に関わるものであり、中学校の教員免許状の係る科目区分については「生理学・栄養学」となります。

よって、中学校の教員免許状を取得しようとする場合、「解剖学」及び「微生物学」の修得単位を必要単位数に充てることはできませんので注意してください。

（注2）下記の科目については、保健の教科に関する専門的事項に充てることができるものとします。

【保健体育 → 保健】

生理学（運動生理学を含む） → 人間機能学

解剖学 → 解剖学

衛生学及び公衆衛生学 → 衛生学及び公衆衛生学

学校保健概論 → 学校保健（学校安全を含む）

K. 技術（中学校）の履修のしかた

免許法施行規則に定める事項及び科目		授業科目	単位数	履修年次	中学校・1種		中学校・2種		備考	
					必修①	選択必修②	必修①	選択必修②		
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)		○ 技術教育総論	2	2～4	2		2			
		技術科教育実践研究	1	2～4	1					
		技術教育入門	2	1～4	2					
		技術科教育法	2	2～4	2					
		技術科教育法演習	1	2～4	1					
教科に関する専門的事項	材料加工 (実習を含む。)	○ 木材加工学演習	1	2・3	1		1		木材加工 木材加工 木材加工 木材加工 金属加工 金属加工 金属加工 金属加工	
		○ 木材加工基礎実習	1	3	1		1			
		技術科の専門的基盤（木材加工学演習）	1	2・3	1			1		
		製図実習	1	1	1		1			
		○ 材料工学演習	1	1	1		1			
		○ 金属加工基礎実習	1	2	1		1			
		技術科の専門的基盤（材料加工実習）	1	1	1			1		
		金属加工実習	1	3・4	1	1		1		
	機械・電気 (実習を含む。)	○ 機械工学演習	1	1	1			1		機械 機械 機械 機械 機械 機械 機械 電気 電気 電気 電気 電気 電気 電気
		○ 機械工学基礎実習	1	2	1			1		
		技術科の専門的基盤（機械工学演習）	1	2	1				1	
		機械工学実習	1	3・4	1	1		1		
		機械エネルギー工学	2	1～4	2	2		2		
		航空流体工学	2	3・4	2	2		2		
		技術科総合実習	1	4	1	1		1		
		○ 電気工学演習	1	3・4	1			1		
		○ 電気工学基礎実習	1	2	1			1		
		技術科の専門的基盤（電気回路演習）	1	1	1				1	
		電気工学実習	1	3・4	1	1	4		1	
		電気磁気学	2	1	2	2		2		
		電子工学	2	2	2	2		2		
		電子回路	2	2	2	2		2		
		エネルギー変換	2	3・4	2	2		2		
	生物育成	○ 栽培原論演習	1	1	1			1		栽培 栽培 栽培 栽培 栽培
		○ 栽培基礎実習	1	2	1			1		
		技術科の専門的基盤（栽培実習）	1	2	1				1	
		作物学	2	3・4	2	2		2		
		植物育種学	2	3・4	2	2		2		
	情報とコンピュータ	○ 情報工学演習	1	1	1			1		情報 情報 情報 情報 情報
		○ 情報工学基礎実習	1	1	1			1		
		技術科の専門的基盤（情報工学演習）	1	1	1				1	
		情報工学実習	1	3・4	1	1		1		
		プログラミング入門	2	1	2	2		2		
合計					28	4	15	1		
					32		16			

※備考には、教育職員免許法施行規則令和6年4月1日改正前の科目区分を参考までに記載。

Ⅰ. 工業（高等学校）の履修のしかた

免許法施行規則 に定める事項 及び科目	授 業 科 目	単位数	履修年次	高等学校・1種		備 考
				必修①	選択必修 ②	
各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を 含む。)	○ 工業科教育法Ⅰ	2	2～4	2		
	○ 工業科教育法Ⅱ	2	2～4	2		
教科に 関する 専門的 事項	製 図 実 習	1	1	1		
	○ 材 料 工 学 演 習	1	1	1		
	○ 金 属 加 工 基 礎 実 習	1	2	1		
	技術科の専門的基盤（材料加工実習）	1	1	1		
	金 属 加 工 実 習	1	3・4	1	1	
	○ 機 械 工 学 演 習	1	1	1		
	○ 機 械 工 学 基 礎 実 習	1	2	1		
	技術科の専門的基盤（機械工学演習）	1	2	1		
	機 械 工 学 実 習	1	3・4	1	1	
	機 械 エ ネ ル ギ ー 工 学	2	2	2	2	
	航 空 流 体 工 学	2	3・4	2	2	
	技 術 科 総 合 実 習	1	4	1	1	
	○ 電 気 工 学 演 習	1	3・4	1	5	
	○ 電 気 工 学 基 礎 実 習	1	2	1	12	
	技術科の専門的基盤（電気回路演習）	1	1	1		
	電 気 工 学 実 習	1	3・4	1	1	
	電 気 磁 気 学	2	1	2	2	
	電 子 工 学	2	2	2	2	
	電 子 回 路	2	2	2	2	
	エ ネ ル ギ ー 変 換	2	3・4	2	2	
	○ 情 報 工 学 演 習	1	1	1		
	○ 情 報 工 学 基 礎 実 習	1	1	1		
	技術科の専門的基盤（情報工学演習）	1	1	1		
	情 報 工 学 実 習	1	3・4	1	1	
	プ ロ グ ラ ミ ン グ 入 門	2	1	2	2	
	職業指導	○ 職 業 指 導 概 論	2	2～4	2	
合 計				24	12	
				36		

M. 家庭（中学校および高等学校）の履修のしかた

免許法施行規則 に定める事項 及び科目	授 業 科 目	単位数	履修年次	中学校・1種		中学校・2種		高等学校・1種		備 考
				必修①	選択 必修②	必修①	選択 必修②	必修①	選択 必修②	
各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を 含む。)	○ 家 庭 科 教 育 法 総 論	2	1～3	2		2		2		
	家 庭 科 教 育 実 践 研 究	2	3	2			2	2	2	
	家 庭 科 授 業 論 I	2	1～3	2			2	2	2	
	家 庭 科 授 業 論 II	2	2～4	2			2	2	2	
教科に 関する 専門的 事項	○ 家庭経営学（含経済・家族）	2	1	2		2		2		
	家庭科の専門的基盤（家庭経営学）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	現 代 社 会 と 家 族	2	2～4		2	2	2	2	2	
	ライフコースと生活福祉	2	2～4		2	2	2	2	2	
	家 庭 経 営 論 演 習	2	3		2	2	2	2	2	
	○ 衣 生 活 論（含実習）	2	1	2		2		2		
	家庭科の専門的基盤（被服学）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	衣 生 活 研 究	2	2～4		2	2	2	2	2	
	衣 生 活 実 習	1	1	1		1	1	1	1	
	衣 生 活 実 験	1	2～3		1	1	1	1	1	
	衣 生 活 論 演 習	2	3		2	2	2	2	2	
	○ 食 生 活 論（含実習）	2	1	2	3	4	2	2	8	
	家庭科の専門的基盤（食物学）	2	2～4	2	2	2	2	2	2	
	食 物 栄 養 学	2	2～4		2	2	2	2	2	
	食 物 学 実 験	1	2		1	1	1	1	1	
	食 生 活 論 実 習	2	1	2			2	2	2	
	調 理 学 実 験・実 習	1	2～4		1	1	1	1	1	
	食 生 活 論 演 習	2	3		2	2	2	2	2	
	○ 住 生 活 論	2	1	2		2		2		
	住 生 活 研 究	2	1～4		2	2	2	2	2	
	○ 保 育 学	2	2	2		2		2		
	子 ど も の 発 達 と 保 育	2	1～4		2	2	2	2	2	
合 計				28	4	14	2	24	12	
				32		16		36		

N. 英語（中学校および高等学校）の履修のしかた

免許法施行規則に定める事項及び科目	授業科目	単位数	履修年次	中学校・1種		中学校・2種		高等学校・1種		備考
				必修①	選択必修②	必修①	選択必修②	必修①	選択必修②	
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	○ 英語科教育法総説	2	2	2		2		2		
	英語科教育実践研究	2	3	2			2	2		
	英語科教育法Ⅰ	2	2	2			2	2	2	
	英語科教育法Ⅱ	2	4	2			2	2	2	
教科に関する専門的事項	○ 英語学概論	2	2	2		2		2		
	英語科の専門的基盤（英語学特論）	2	3	2	2	2	2	2	2	
	応用言語学	2	3		2	2	2		2	
	英文法の学習と指導	2	2		2	2	2		2	
	英語の音声と文法	2	2		2	2	2		2	
	英語教育工学	2	2		2	2	2		2	
	○ 英語文学概論	2	2	2		2		2		
	英語科の専門的基盤（英語文学）	2	2	2	2	2	2	2	2	
	英語文学セミナーⅠ	2	1		2	2	2		2	
	英語文学セミナーⅡ	2	2		2	2	2	2	2	
	英語文学通論	2	1		2	2	2	2	2	12
	○ English Communication	2	1	2		2		2		
	英語科の専門的基盤 (Academic Writing)	2	4	2	2	2	2	2	2	
	Writing I	2	1		2	2	2		2	
	Writing II	2	2		2	2	2		2	
	Presentation & Discussion	2	3		2	2	2		2	
	発音トレーニング	2	1		2	2	2		2	
	Intermediate English Communication	2	2		2	2	2		2	
	○ Understanding Other Cultures: Basic	2	2	2		2		2		
	国際交流と異文化理解	2	2		2	2	2		2	
	Understanding Other Cultures: Advanced	2	3		2	2	2		2	
	Reading	2	2		2	2	2		2	
合計				28	4	14	2	24	12	
				32		16		36		

4. 教育の基礎的理解に関する科目の履修のしかた

教育の基礎的理解に関する科目については、次のとおり履修してください。

免許法施行規則に定める最低修得単位数				左記に対応する開設授業科目及び最低修得単位数									
	中学校 1種	中学校 2種	高等学校 1種	授業科目	単位数	履修 年次	中学校1種		中学校2種		高等学校1種		備考
							必修	選択必修	必修	選択必修	必修	選択必修	
教育の基礎的理解に関する科目	10	6	10	教育基礎論	1	1	1		1		1		中・高基A
				教職概論	1	1	1		1		1		中・高基B
				教育制度と経営論	1	1	1		1		1		中・高基C
				発達と学習の心理学	2	1	2		2		2		中・高基D
				特別支援教育の理論と方法	2	1	2		2		2		中・高基E
				教育課程論	1	1	1		1		1		中・高基F
				児童発達心理学	2	2～4	2	}			2	}	中・高基D
				学習の心理学	2	2～4	2			2	中・高基D		
				現代教育思想	1	1～4	1			1	中・高基A		
				メディア社会と学校教育	1	2～4	1			1	中・高基C		
				横断型授業づくり入門	1	1～4	1		1	中・高基F			
				少年法制からみた教育	1	2～4	1	}	2	1	}	2	中・高基C
				教育政策学	1	2～4	1			1		中・高基C	
				教育行財政	1	2～4	1		1		1	中・高基C	
				実践から学ぶ教職論	2	1～4	2		2		2	中・高基B	
				実践に活かす教職論	2	1～4	2		2		2	中・高基B	
学校の安全管理と安全教育	1	3・4	1		1		1	中・高基C					
地域教育経営論	1	1～4	1		1		1	中・高基C					
地域社会と学校マネジメント	1	1～4	1		1		1	中・高基C					
学校と市民	1	1～4	1		1		1	中・高基A					
合計							8	2	8		8	2	
							10		8		10		

※備考の記号は、その科目が免許法施行規則第4条及び第5条に定める事項を含んでいることを示します。

中・高基A：教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

中・高基B：教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）

中・高基C：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）

中・高基D：幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程

中・高基E：特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解

中・高基F：教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）

5. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目の履修のしかた

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目については、次のとおり履修してください。

免許法施行規則に定める最低修得単位数				左記に対応する開設授業科目及び必要単位数									
	中学校 1種	中学校 2種	高等学校 1種	授業科目	単位数	履修 年次	中学校1種		中学校2種		高等学校1種		備考
							必修	選択必修	必修	選択必修	必修	選択必修	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	6	8	道徳教育の理論と方法	2	3	2		2				中道A（注1）
				総合的な学習の時間の指導法	1	1	1		1		1		中・高道B
				特別活動の理論と実際	1	2	1		1		1		中・高道C
				教育方法・技術	1	2	1		1		1		中・高道D
				ICT活用教育の理論と方法	1	2	1		1		1		中・高道E
				生徒指導・教育相談の理論と実際	2	3	2		2		2		中・高道FG
				進路指導の理論と実際	1	3	1		1		1		中・高道H
				児童・生徒の不適應	1	2～4		1				1	中・高道G
				学校心理学の基礎	1	2～4		1				1	中・高道G
				生徒指導の社会心理学	2	2～4		2				2	中・高道F
				生徒指導とコミュニケーション	1	2～4		1				1	中・高道F
				教師の授業力育成	2	2～4		2				2	中・高道D
				児童生徒が探究的に学ぶ授業づくり	2	2～4		2				2	中・高道D
				いじめ・不登校と子どもの権利	1	2～4		1				1	中・高道F
				ジェンダーと教育課題	1	2～4		1				1	中・高道F
				児童虐待と非行	1	2～4		1				1	中・高道G
				学校から仕事へ	1	1～4		1				1	中・高道H
				生徒指導と教育相談	2	3・4		2				2	中・高道FG
				問題行動とその指導	2	3・4		2	2			2	中・高道FG
				臨床心理学概論	2	3・4		2				2	中・高道G
				心理発達支援論	1	3・4		1				1	中・高道G
				臨床教育実践	2	2～4		2				2	中・高道FG
				非行臨床概論	2	2～4		2				2	中・高道G
				ICT授業実践入門	2	2～4		2				2	中・高道D
				ディベート教育論	2	1～4		2				2	中・高道D
				教育方法学	1	2～4		1				1	中・高道D
				学力形成論	1	2～4		1				1	中・高道D
				情報機器活用と教育方法	1	1～4		1				1	中・高道E
				ワークショップ教育論	1	1～4		1				1	中・高道D
				学習ファシリテーション論	1	1～4		1				1	中・高道D
合計							9	2	9		7	2	
							11		9		9		

（注1）高等学校教諭一種免許状では、「道徳教育の理論と方法」は、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の修得単位としては利用できませんが、「大学が独自に設定する科目」に充てることができます。

※備考の記号は、その科目が免許法施行規則第4条及び第5条に定める事項を含んでいることを示します。

中道A：道徳の理論及び指導法

中・高道B：総合的な学習の時間の指導法

中・高道C：特別活動の指導法

中・高道D：教育の方法及び技術

中・高道E：情報通信技術を活用した教育の理論及び方法

中・高道F：生徒指導の理論及び方法

中・高道G：教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

中・高道H：進路指導及びキャリア教育の理論及び方法

6. 教育実践に関する科目の履修のしかた

教育実践に関する科目については、次のとおり履修してください。

授 業 科 目	単位数	履修年次	中学校 1 種・2 種		高等学校 1 種		備 考
			必修	選択必修	必修	選択必修	
教 育 実 習 （ 中 学 校 ）	4又は2	3	4		2		
教育実習事前・事後指導（中学校）	1	2～4	1		1		
教 職 実 践 演 習	2	4	2		2		
合 計			7		5		
			7		5		

（注 1）中学校教諭免許状のために修得した教育実習（中学校）4 単位をもって、高等学校教諭免許状取得に際しては、2 単位を教育実習として利用し、残り 2 単位を「大学が独自に設定する科目」に充てることができます。

（注 2）小学校教諭免許状のために修得した教育実習及び事前・事後指導（小学校）5 単位をもって、中学校教諭免許状取得に際しては、3 単位（事前・事後指導の 1 単位を含む。）まで充てることができます。この場合、教育実習（中学校）2 単位を修得し充足することにより、教育実習及び事前・事後指導（中学校）5 単位を修得したことになります。なお、残りの教育実習（小学校）2 単位は、中学校教諭免許状の取得のためには一切充てることはできません。

なお、中学校教諭免許状は取得せずに、高等学校教諭免許状のみを取得しようとする場合は、小学校教諭免許状のために修得した教育実習及び事前・事後指導（小学校）5 単位をもって、事前・事後指導の 1 単位まで充てることができます。この場合、教育実習（中学校）2 単位を修得し充足してください。

7. 大学が独自に設定する科目の履修のしかた

大学が独自に設定する科目については、中学校コースの「学校及び教育の諸課題に関する科目」（51 頁）の表のうち、備考に中学校あるいは高等学校の教員免許状に対応している科目から選択してください。

また、前掲「3. 教科及び教科の指導法に関する科目」、「4. 教育の基礎的理解に関する科目」及び「5. 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」の各区分における**必要単位数を超えて修得した余剰単位を充てることもできます。**

しかしながら、教科の教員になる者として、当該教科に関する知識や能力をより高め充実させるためには、余剰を利用せず、できる限り教科及び教科の指導法に関する科目の「選択必修②」のとおりに履修することを強く推奨します。これについては、教科によって履修の仕方が異なるので、必ず各教科の方針に従って履修してください。